20
-中・西部-

田中 愛生（たなか あいき）
「田中ゲイ企画」代表

応募のきっかけは？

南フランスの大学に留学中、同じ東京都出身の友人に出会い、帰国後、一緒に地方を拠点としたビジネスを立ち上げたいと情報収集を続けていました。海外留学帰りの2人が、地方のコミュニティにどうやって馴染むかを考えていたところ、友人が協力隊の制度を探し当て、まずは隊員としてコミュニティに入り、地域に根差すことにしました。「南フランスのような気候の良い場所で暮らしたい」という願いもあり、瀬戸内海側の晴れの多い地域に候補地を絞り込んだところ、山口市の募集を知り、2人そろって応募しました。

隊員時代：イベント会場

隊員時代の思い出を教えてください

山口を盛り上げるために思い付くもの、自分たちがやりたいと思うことをどんどん提案しました。市役所に籍を置いていましたので、それほど潤沢ではない予算の中で、できることとできないことなどを意識しながら、何十本もの企画を提案し続けました。

2020年と2021年の夏には、美濃ヶ浜に「タイニーバー」をオープンしました。自分たちが楽しく仕事を進めていると、周りの皆さんも楽しんでいただけます。多くの人を巻き込んだ結果、複数のメディアで紹介していただけ、話題作りと集客を実現することができました。地元の方も、「海と空のオープンな場所で、楽しい時間を過ごせました」と喜ばれ、地元に貢献できていることを実感できました。やりたいことを提案し実現するためには、周りの方に自分を理解していただき、好感を持っていただくことが大切です。

現在、そしてこれからについて

山口では、LGBT（性的少数者）についての理解が進んでいないと感じ、身近なところにもLGBTに該当する人がいるということを伝えたくて、卒業後に湯田温泉で「田中ゲイ企画」という名のバーをオープンしました。どんな方にもお越しいただきたいと、あえて直球の店名にしましたので、最初は地元の方に受け入れられるか不安でしたが、今ではLGBT当事者の方はもちろん、それ以外の方からも好評をいただき賑わっています。

人生は様々な選択肢がありますが、選べるものには限りがあります。これはちょうどカタログのようなものだと思っていて、その時の手持ちのスキルや経験、金銭状況から、常に最良の商品、そして、人生においては選択肢を選ぶようにしています。「ミスターゲイジャパン2022」のグランプリを受賞したこともあり、今後はその経験を生かし、活動をしていきたいと考えています。

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

協力隊として活動するのに、活動資金の作り方や使い方についての問題は欠かせません。お金の話は話題にしづらいこともありますが、早い段階で先輩隊員や市の担当職員に相談することをお勧めします。スムーズな活動のための方法が見つかるはずです。

田中 愛生（たなか あいき）さん

協力隊として
- 着 任 地｜山口市
- 活動期間｜2019年3月～2022年2月
- 活動内容｜ニューツーリズム形成業務

現在の仕事
「田中ゲイ企画」代表
インスタグラム｜
https://www.instagram.com/tanakagaykikaku/

隊員時代：タイニーバー

田中さんのあゆみ

- 2018. 協力隊志望
- 2019.03 協力隊着任
- 2020.02 タイニーバー製作
- 2020.07 タイニーバー運営（2021年度も実施）
- 2021.11 「田中ゲイ企画」の開店準備
- 2022.02 協力隊卒業
- 2022.03 「田中ゲイ企画」オープン